

# 平成26年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号	20
------	----

## I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、現代社会に貢献できる人間の育成に努める。	
2 評価する領域・分野	◇生徒指導（教育相談）	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 問題行動・交通事故数は、昨年度と比較して増加。頭髪や身だしなみについては、2年前よりイエローカードを導入し、大幅な改善がみられた。遅刻はここ数年減少していたが、昨年度より増加傾向が続いている。</li> <li>• ここ数年ケータイ依存の生徒が目立つ。休み時間に利用し、授業への準備不足や移動教室の遅れの原因になっている。情報モラル違反の生徒も増加した。</li> <li>• 生徒指導の進め方については、入学式や育友会総会等において学校の指導方針を保護者に話したり、またアンケート調査により、理解していただいている。</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇自己指導能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 時間励行と明るい挨拶の実践</li> <li>• 問題行動の未然防止、早期対応の徹底</li> </ul> ◇規範意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 端正な身だしなみ 交通ルールの遵守とマナーの習慣化</li> <li>• 関係機関等との連携</li> </ul>	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	生徒部会、企画委員会、各学年会、職員会議、各種委員会などを通じて、全職員の共通理解を図る。	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 毎朝の遅刻指導。保護者・MSリーダーズによる挨拶運動（毎月15日）・教育相談週間（年2回）の実施 (2) 月はじめの再登校指導・年間を通してのイエローカードの実施 (3) 自転車点検・交通講話・育友会と連携した朝の交通指導 夜間防犯のための反射板の生徒への配布 (4) 揖斐郡内の小中との連携、他の高校との連携・必要に応じた警察との連携	(1) 欠席、遅刻者数の推移・問題行動、いじめの認知件数の増減。 (2) TPOに応じて、端正な身だしなみができているか。イエローカードの配布数。 (3) 交通事故件数の増減、不審者被害の増減。 (4) 必要に応じた情報の共有ができているか。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生徒指導担当者、副担任を中心として、全職員が登校時に挨拶・遅刻指導を実施</li> <li>• 教育相談、いじめアンケートを通して、気になる生徒や問題を抱えた生徒に接しながら「考え、自己決定させる」指導を実施した。</li> <li>• 今年度は、昨年度より開始した年間を通してのイエローカードを継続実施した。スカート丈、ボタン、また、ケータイ・スマートフォンのマナー違反の生徒には一週間の継続指導を課した。</li> </ul>	① 全職員による挨拶、遅刻指導ができたか。 ② 職員間で共通理解を持ち、それぞれの個性を生かした生徒への指導ができたか。 ③ TPOに応じた端正な身だしなみができているか。	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>  A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>  A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月に業者による自転車点検を実施。また、揖斐警察署員による全校交通講話の実施。</li> <li>・ 育友会と連携した月1回の朝の交通指導。また、危険箇所の見直しによる登下校のルート変更の実施。</li> <li>・ 揖斐郡内小中高生徒指導連携強化委員会・学校警察連絡協議会への参加と情報交換、学校・警察とのサポート制度の活用。</li> </ul>	<p>④ 交通事故が減少したか。 安全を意識した自転車の乗り方ができているか。</p> <p>⑤ 保護者の協力が得られているか。</p> <p>⑥ 必要に応じて、関係機関等と連携し、効果を上げることができたか。</p>	<p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p>
<p>11 成 果 ・ 課 題</p>	<p>○平成25年度より、身だしなみ指導として、イエローカードを導入した。違反者には、5日間該当教員のサインをもらうという方式に変更した。それにより、女子のスカート丈や、男子のボタン等の身だしなみは以前と比較すると、大幅に改善された。</p> <p>▲何度も繰り返す生徒や、サインをもらうのいいかげんになる生徒の問題も出てきた。また、イエローカードを渡す教員の側にも渡す人・渡さない人等での不公平感が課題となった。</p> <p>▲今年度、残念であったのが、交通事故の増加である。ここ数年着実に減少してきたが、今年は、自転車と自動車の接触事故の増加が目立った。双方の不注意が一番の原因であった。</p> <p>▲今年の特徴として、ネットパトロールによるスマートフォン・ケータイ等の不適切な使用が増加した。情報モラル対策は重要課題である。</p>	<p>総合評価</p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <p>来年度は、昨年度より実施しているイエローカードを継続、発展していきたい。複数回生徒には、レッドカードの導入も検討中である。高止まりにある遅刻の数を減少させるため、学校・家庭が協力して強力に取り組んでいきたい。また、ここ数年目立ってきたネット上での中傷や、携帯マナーについては、スマートフォンの使用制限を明確にして、加害者にも被害者にもならない取り組みをしていきたい。そのために、情報・モラル講話を早々に予定している。また、地域ボランティアにも継続的に取り組み、MSLを中心に地域活動に取り組んでいきたい。そのためにも、全職員が共通した認識をベースに個々の生徒に応じた指導・援助を行い、池田高校の生徒として誇りを持って学校生活を送れるように努力していきたい。</p>		

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成27年2月12日

### 【意見・要望・評価等】

- ・ ネット社会におけるケータイ・スマートフォンの使用方法については、現在、その危険性・依存性等多くの課題がある。従って、指導が必要と考えるが、その取り扱いについては生徒自身に考えさせる機会を与えることも必要ではないかと考えます。
- ・ イエローカードの指導についての教諭の共通認識・理解が重要と考えます。
- ・ 生徒の身だしなみや来校者に対するあいさつは、最近とても良くなっていると感じます。
- ・ 一人一人の生徒さんの現状や悩みに敏感な先生方が、今以上に増えてほしいと感じます。